

# 情報I 情報デザイン

---

教科書pp.38-45

# 情報デザイン

---

- ・効果的なコミュニケーションや問題解決のために、  
情報をわかりやすく, 扱いやすくする技術
- ・デザイン: design:  
〈人が〉《…のために》〈衣服など〉をデザインする;  
〈建物・機械など〉を設計する《for》  
(ウィズダム英和辞典 第4版)

# 情報デザイン

---

## ・情報バリアフリー

- ・障がい者や高齢者などが

情報を送受信するときに障壁となるものの取り除くこと

- ・すでにある障壁を取り除く

(なにかあったときだけ使う機能)

- ・barrier: 障害, 障壁, (ウィズダム英和辞典 第4版)

- ・free: 〈人・物〉への制約を取り除く

(ウィズダム英和辞典 第4版)

# 情報デザイン

---

- ・障害の社会モデル
  - ・障がい者と呼ばれる人が生活していて問題(困りごと)を感じるのは、本人に問題があるのではなく、社会に障害となる問題があるという考え方

# 情報デザイン

---

- Webアクセシビリティ

- あるWebサイトで提供される

- 情報やサービスを利用できること, またその到達度  
(状態)

- 代替テキスト (altテキスト)

- 視覚障がい者でも, 画像の内容を説明した文が  
設定されていれば, 読み上げソフトを用いて  
理解できる

# 情報デザイン

---

## ・字幕

- ・聴覚障がい者でも、  
音声の内容を文字起こしされていれば、  
文字を読むことで理解できる
- ・クローズドキャプション
  - ・効果音や音楽なども字幕にしたもの

# 情報デザイン

---

- ユニバーサルデザイン
  - できるかぎり多くの人にとって使いやすいよう設計すること
  - はじめから障壁を作らない

# 情報デザイン

---

- ・はじめから障壁を作らない

- ・色覚バリアフリー

- ・色覚には多様性があり、  
人によっては区別しづらい色がある(障壁)
- ・区別しづらい色を使わないようにすることが  
色覚バリアフリー
- ・「赤色だから重要」のように、  
色だけの区別ではわからない人もいる  
(スライドでは太字化, プリントでは空白化)



# 情報デザイン

---

- **ピクトグラム**

- 言葉を使わずに絵や記号で伝えるための図
- 変化や傾向がわかりやすい



# 情報デザイン

---

- ・フォントや大きさ・太さを工夫する
  - ・判読性が高く, 似た数字と区別しやすい  
ユニバーサルデザインフォントなどがある
- ・フォントごとの印象
  - ・明朝体: 読みやすい
  - ・ゴシック体: 目立ちやすく現代的な印象
  - ・**ポップ体: 安っぽいイメージ**
  - ・**筆書体: 伝統的なイメージ**

# 情報デザイン

---

## ・ユーザビリティ

- ・ソフトウェアやWebサイトなどの使いやすさのこと
- ・usability: 使用可能なこと; 有用性; 『IT』  
(ソフトウェアなどの)使い勝手, 使いやすさ  
(ウィズダム英和辞典 第4版)
  - ・ニールセンのユーザビリティ10原則  
(ユーザビリティを高めるための原則)
  - ・LATCH法  
(位置, アルファベット順, 時間, カテゴリ, 階層  
による分類)

# 情報デザイン

---

## ・ユーザインタフェース

- ・利用者が見たり触れたり(操作)する部分
  - ・情報の表示形式やデータ入力方式の操作感
- 表示形式による違い
- ・図
    - ・構造や関係性が直感的にわかる
  - ・表
    - ・正確な数値を一覧できる
  - ・グラフ
    - ・変化や傾向がわかりやすい